

新たな可能性への挑戦！！

非常時用走行バッテリーの走行実験を行います

平成 25 年 4 月 30 日（火）～

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、震災等の影響により停電が発生したときに、駅間に停止した列車が最寄り駅まで自力で走行するための非常時用走行バッテリーの研究を進めておりますが、平成 25 年 4 月 30 日から非常時用走行バッテリーによる車両の走行実験を開始いたします。

震災等により駅間に列車が停止した場合、安全を確認した上で最寄り駅まで走行し、お客様に駅で降りていただくことを基本としていますが、停電が発生し列車が走行できなくなった場合には、駅員が救援に向かいお客様の安全を確保し、トンネル内を歩行にて避難いただいております。

非常時用走行バッテリーは、通常時は架線などの電力供給源から充電し、非常時は車両に電力を供給することで駅間に停止した列車を停電時でも最寄り駅まで自力で走行させることを可能とするもので、お客様により安全かつ迅速に避難いただくことが可能となります。

この走行実験により性能の検証などを行い、今後、搭載の可能性について検討してまいります。



非常時用走行バッテリー